

## 第2節 第二次調査

### 1 調査対象者

第一次調査の回答を得た1,303人のうち、全般的に認知機能の低下があると考えられた252人（第一次調査実施者に対する割合19.3%）を第二次調査対象者とした。そのうち180人（第二次調査対象者に対する実施率71.4%）から回答を得た。

第二次調査回答者180人の性別構成は、男性45.0%、女性55.0%、年齢階級別構成は「65～69歳」6.7%、「70～74歳」8.3%、「75～79歳」11.7%、「80～84歳」26.7%、「85歳以上」46.7%であった。

また、調査不能者は72名（同28.6%）で、その内訳は拒否49人、死亡11人、その他12人であった。

第一次調査実施数に対する第二次調査実施数の割合（ $a/b \times 100$ ）は、総数では13.8%、性別では男性14.7%、女性13.2%、年代では85歳以上36.5%であった（表23）。

実施場所は、在宅120人（回答者180人に対して66.7%）、入所施設46人（同25.6%）、入院医療機関14人（同7.8%）であった（表24）。

表23 第一次調査回答者と第二次調査対象者の性別、年齢階級別構成

	総数	性別		年齢階級別				
		男	女	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
第一次 a	人 1,303	552	751	305	296	241	231	230
	% (100.0)	(42.4)	(57.6)	(23.4)	(22.7)	(18.5)	(17.7)	(17.7)
第二次 b	人 180	81	99	12	15	21	48	84
	% (100.0)	(45.0)	(55.0)	(6.7)	(8.3)	(11.7)	(26.7)	(46.7)
a/b×100	% (13.8)	(14.7)	(13.2)	(3.9)	(5.1)	(8.7)	(20.8)	(36.5)

### 2 認知症の有病率

#### (1) 有病率の推計（65歳以上人口100人に対する割合）

第二次調査の結果、認知症があると診断された者は146人であった。過去の調査の算出方法と同様に調査不能であった者にも調査実施者と同率で認知症があると仮定して有病率を求めた。

この結果、65歳以上の高齢者における認知症の有病率は15.7%であった。性別では、男性14.2%、女性16.9%であった（表24）。

年代別では、年齢が高くなるほど有病率は高く、「80～84歳」25.1%、「85歳以上」44.5%であった。「80～84歳」では男性29.0%、女性22.8%、「85歳以上」では男性38.3%、女性47.4%であった（表25）。

調査場所別の有病率は「在宅」10.2%、「入院」77.4%、「入所」88.6%で、入院・入所中の者が在宅に比べて高かった（表24）。

有病率の算定は次の式による。

$$e = \frac{d \times \frac{b}{c}}{a}$$

表 24 認知症の有病率（有病率；65 歳以上人口 100 に対する割合）

	第一次 調査実 施数 a	第二次調査		認知症		2001 年 度有病 率 f	差 e-f	
		対象数 b	実施数 c	あり d	有病率 e			
総数	1,303	252	180	146	15.7	8.8	6.89	
性別	男	552	106	81	60	14.2	6.8	7.42
	女	751	146	99	86	16.9	10.2	6.69
年齢階級別	65～69 歳	305	14	12	8	3.1	2.3	0.76
	70～74 歳	296	21	15	10	4.7	3.1	1.63
	75～79 歳	241	28	21	16	8.9	7.5	1.35
	80～84 歳	231	68	48	41	25.1	16.1	9.04
	85 歳以上	230	121	84	71	44.5	34.2	10.27
場所	在宅	1,209	170	120	87	10.2	5.8	4.4
	入院	24	20	14	13	77.4	47.4	30.0
	入所	70	62	46	46	88.6	65.9	22.7

表 25 性・年齢階級別有病率（有病率；65 歳以上人口 100 に対する割合）

	総数	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上
総数	15.7	3.1	4.7	8.9	25.1	44.5
男	14.2	5.1	6.0	9.5	29.0	38.3
女	16.9	1.3	3.6	8.1	22.8	47.4

表 26 認知症の有病率の精度（有病率；65 歳以上人口 100 に対する割合）

	有病率 推計値	標準誤差 (95%信頼水準)	誤差の範囲	
			下限	上限
総数	15.7	±2.0	13.7	17.7
性別	男性	±3.0	11.3	17.2
	女性	±2.7	14.2	19.6
年齢階級別	65-69 歳	±2.0	1.1	5.0
	70-74 歳	±2.5	2.3	7.2
	75-79 歳	±3.7	5.2	12.5
	80-84 歳	±5.7	19.4	30.9
	85 歳以上	±6.6	37.9	51.0

（注釈）今回の調査における認知症の有病率は、県内の高齢者の一部を対象とした調査（標本調査）から得られたものである。そのため、県内の高齢者全員を対象とした調査（全数調査）を行った場合に得られるであろう認知症の有病率とは差がある可能性がある。この標本調査と全数調査による有病率の差を、標本誤差という。表 26 における総数の有病率 15.7%、標本誤差 2.0、誤差の範囲 13.7-17.7 とは、今回の標本調査から得られた有病率が 15.7%であるのに対して、仮に全数調査を行った場合でも有病率は 15.7±2.0%、つまり、13.7-17.7%の範囲にある可能性が高いことを意味している。

今回の標本調査の標本誤差の算定は次の式によった。

$$\epsilon = \lambda \sqrt{\frac{N-n}{N} \cdot \frac{\widehat{P}(1-\widehat{P})}{n-1}}$$

ただし N：母集団の大きさ  
n：標本の大きさ  
 $\widehat{P}$ ：認知症高齢者の出現率  
 $\lambda \approx 2$ （信頼水準 95%の場合）

## (2) 認知症の種類（疾患名）

認知症と診断された146人の疾患名は、「アルツハイマー型認知症」99人（67.8%）、「脳血管性認知症」18人（12.3%）、「混合型認知症（アルツハイマー型と脳血管性の合併）」9人（6.2%）「鑑別困難な認知症」8人（5.5%）、「レビー小体型認知症」6人（4.1%）、「頭部外傷性認知症」「前頭側頭型認知症」がともに1人（0.7%）、「その他の認知症」4人（2.7%）であった（表27-1）。

今回の集計では、認知症の種類を「アルツハイマー型認知症」、「脳血管性認知症」、「鑑別困難な認知症」、「その他（混合型、レビー小体型、頭部外傷性、前頭側頭型、その他）」と区分した。

表 27-1 認知症の種類

疾患名	人数	%
アルツハイマー型認知症	99	(67.8)
脳血管性認知症	18	(12.3)
混合型認知症	9	(6.2)
鑑別困難な認知症	8	(5.5)
レビー小体型認知症	6	(4.1)
頭部外傷性認知症	1	(0.7)
前頭側頭型認知症	1	(0.7)
アルコール性認知症	0	(0.0)
その他の認知症	4	(2.7)
総数	146	(100.0)

表 27-2 認知症の種類—性別年齢階級別、調査場所別

	アルツハイマ 一型認知症	脳血管性 認知症	鑑別困難な 認知症	その他の 認知症	合計	
総数	99 (67.8)	18 (12.3)	8 (5.5)	21 (14.4)	146 (100.0)	
総数	65-69 歳	2 (25.0)	2 (25.0)	1 (12.5)	3 (37.5)	8 (100.0)
	70-74 歳	6 (60.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	10 (100.0)
	75-79 歳	10 (62.5)	5 (31.3)	1 (6.3)	0 (0.0)	16 (100.0)
	80-84 歳	28 (68.3)	3 (7.3)	2 (4.9)	8 (19.5)	41 (100.0)
	85 歳以上	53 (74.6)	6 (8.5)	3 (4.2)	9 (12.7)	71 (100.0)
	男性	65-69 歳	2 (33.3)	1 (16.7)	1 (16.7)	2 (33.3)
70-74 歳		4 (66.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	0 (0.0)	6 (100.0)
75-79 歳		4 (57.1)	2 (28.6)	1 (14.3)	0 (0.0)	7 (100.0)
80-84 歳		12 (60.0)	3 (15.0)	1 (5.0)	4 (20.0)	20 (100.0)
85 歳以上		13 (61.9)	2 (9.5)	2 (9.5)	4 (19.0)	21 (100.0)
小計		35 (58.3)	9 (15.0)	6 (10.0)	10 (16.7)	60 (100.0)
女性	65-69 歳	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	2 (100.0)
	70-74 歳	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	4 (100.0)
	75-79 歳	6 (66.7)	3 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (100.0)
	80-84 歳	16 (76.2)	0 (0.0)	1 (4.8)	4 (19.0)	21 (100.0)
	85 歳以上	40 (80.0)	4 (8.0)	1 (2.0)	5 (10.0)	50 (100.0)
	小計	64 (74.4)	9 (10.5)	2 (2.3)	11 (12.8)	86 (100.0)
場所	在宅	56 (64.4)	10 (11.5)	7 (8.0)	14 (16.1)	87 (100.0)
	入院	7 (53.8)	3 (23.1)	1 (7.7)	2 (15.4)	13 (100.0)
	入所	36 (78.3)	5 (10.9)	0 (0.0)	5 (10.9)	46 (100.0)

### (3) 疾患別有病率と認知症の程度

アルツハイマー型認知症の有病率は、総数では10.6%、男性8.3%、女性12.6%、脳血管性認知症の有病率は、総数1.9%、男性2.1%、女性1.8%であった(表28)。

認知症の程度は「老人知能の臨床的判定基準」により、「軽度」、「中等度」、「やや高度」、「非常に高度」に分類した。認知症の程度は、「軽度」53人(36.3%)、「中等度」32人(21.9%)、「やや高度」32人(21.9%)、「非常に高度」29人(19.9%)であった。性別では、女性のほうが男性より「やや高度」「非常に高度」の割合が高かった。

以降の集計では、認知症の程度を「軽度」、「中等度」、「高度以上(やや高度、非常に高度を含む)」に区分した。

表28 認知症の種類と有病率(性別、認知症の程度別)

		軽度	中等度	やや高度	非常に高度	有病率	
総数	総数	146 (100.0)	53 (36.3)	32 (21.9)	32 (21.9)	29 (19.9)	15.7
	アルツハイマー型 認知症	99 (100.0)	36 (36.4)	21 (21.2)	25 (25.3)	17 (17.2)	10.6
	脳血管性認知症	18 (100.0)	4 (22.2)	5 (27.8)	1 (5.6)	8 (44.4)	1.9
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	6 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.9
	その他の認知症	21 (100.0)	7 (33.3)	4 (19.0)	6 (28.6)	4 (19.0)	2.3
男性	アルツハイマー型 認知症	35 (100.0)	18 (51.4)	7 (20.0)	6 (17.1)	4 (11.4)	8.3
	脳血管性認知症	9 (100.0)	4 (44.4)	3 (33.3)	1 (11.1)	1 (11.1)	2.1
	鑑別困難な認知症	6 (100.0)	4 (66.7)	2 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1.4
	その他の認知症	10 (100.0)	4 (40.0)	2 (20.0)	4 (40.0)	0 (0.0)	2.4
	小計	60 (100.0)	30 (50.0)	14 (23.3)	11 (18.3)	5 (8.3)	
女性	アルツハイマー型 認知症	64 (100.0)	18 (28.1)	14 (21.9)	19 (29.7)	13 (20.3)	12.6
	脳血管性認知症	9 (100.0)	0 (0.0)	2 (22.2)	0 (0.0)	7 (77.8)	1.8
	鑑別困難な認知症	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.4
	その他の認知症	11 (100.0)	3 (27.3)	2 (18.2)	2 (18.2)	4 (36.4)	2.2
	小計	86 (100.0)	23 (26.7)	18 (20.9)	21 (24.4)	24 (27.9)	

### 3 身体的健康状態

#### (1) 既往歴

認知症高齢者 146 人のうち、40 歳以降に既往歴のある者の割合は総数で 97.9%であり、疾病の内訳では、「高血圧症」44.5%、「骨折」27.4%、「糖尿病」24.7%、「眼疾患」21.2%が多かった。

認知症の種類別では、既往歴のある者の割合は「脳血管性認知症」では 100.0%であり、「アルツハイマー型認知症」では 98.0%であった。

また、「脳血管性認知症」と診断された者には、40 歳以降の既往歴として「脳卒中」77.8%、「高血圧症」66.7%と高かった（表 29）。

表 29 既往歴 認知症の種類別・程度別

	総数	既往歴 / 40 歳以降 (複数回答)									
		あり	糖尿病	高脂血症	甲状腺	うつ病	統合失調症	認知症	パーキンソン病	眼疾患	
総数	146 (100.0)	143 (97.9)	36 (24.7)	19 (13.0)	2 (1.4)	4 (2.7)	0 (0.0)	64 (43.8)	8 (5.5)	31 (21.2)	
アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	97 (98.0)	27 (27.3)	14 (14.1)	2 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	47 (47.5)	4 (4.0)	20 (20.2)	
認知症の種類	脳血管性認知症	18 (100.0)	18 (100.0)	3 (16.7)	1 (5.6)	0 (0.0)	2 (11.1)	0 (0.0)	5 (27.8)	1 (5.6)	5 (27.8)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	7 (87.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	2 (25.0)
	その他の認知症	21 (100.0)	21 (100.0)	4 (19.0)	4 (19.0)	0 (0.0)	2 (9.5)	0 (0.0)	11 (52.4)	3 (14.3)	4 (19.0)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	51 (96.2)	20 (37.7)	6 (11.3)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	9 (17.0)	1 (1.9)	13 (24.5)
	中等度	32 (100.0)	32 (100.0)	7 (21.9)	6 (18.8)	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (40.6)	3 (9.4)	5 (15.6)
	高度以上	61 (100.0)	60 (98.4)	9 (14.8)	7 (11.5)	1 (1.6)	3 (4.9)	0 (0.0)	42 (68.9)	4 (6.6)	13 (21.3)
〈参考〉第一次調査			(15.4)	(16.7)	(2.9)	(1.8)	(0.3)	(7.1)	(1.5)	(21.5)	

		既往歴 / 40歳以降 (複数回答)									
		耳疾患	高血圧症	脳卒中	狭心症・心筋梗塞	喘息	慢性閉塞性肺疾患	消化器疾患	歯科口腔疾患	関節リウマチ	関節症
認知症の種類	総数	4 (2.7)	65 (44.5)	28 (19.2)	25 (17.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	17 (11.6)	10 (6.8)	2 (1.4)	14 (9.6)
	アルツハイマー型認知症	3 (3.0)	44 (44.4)	6 (6.1)	16 (16.2)	1 (1.0)	1 (1.0)	12 (12.1)	9 (9.1)	1 (1.0)	10 (10.1)
	脳血管性認知症	0 (0.0)	12 (66.7)	14 (77.8)	3 (16.7)	1 (5.6)	0 (0.0)	1 (5.6)	1 (5.6)	1 (5.6)	1 (5.6)
	鑑別困難な認知症	1 (12.5)	4 (50.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)
	その他の認知症	0 (0.0)	5 (23.8)	7 (33.3)	6 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (19.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (9.5)
認知症の程度	軽度	2 (3.8)	22 (41.5)	8 (15.1)	8 (15.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (9.4)	4 (7.5)	1 (1.9)	7 (13.2)
	中等度	2 (6.3)	17 (53.1)	7 (21.9)	6 (18.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (9.4)	4 (12.5)	1 (3.1)	1 (3.1)
	高度以上	0 (0.0)	26 (42.6)	13 (21.3)	11 (18.0)	2 (3.3)	1 (1.6)	9 (14.8)	2 (3.3)	0 (0.0)	6 (9.8)
〈参考〉第一次調査		4 (4.0)	46 (46.8)	9 (9.3)	9 (9.5)	2 (2.2)	0 (0.8)	11 (11.4)	11 (11.5)	2 (2.6)	11 (11.9)

		既往歴 / 40歳以降 (複数回答)									
		骨粗鬆症	腎疾患	前立腺	婦人科系疾患	骨折	けが・熱傷	血液疾患	悪性新生物	その他	なし
認知症の種類	総数	15 (10.3)	4 (2.7)	10 (6.8)	7 (4.8)	40 (27.4)	11 (7.5)	5 (3.4)	14 (9.6)	41 (28.1)	3 (2.1)
	アルツハイマー型認知症	12 (12.1)	2 (2.0)	6 (6.1)	3 (3.0)	29 (29.3)	6 (6.1)	4 (4.0)	12 (12.1)	28 (28.3)	2 (2.0)
	脳血管性認知症	2 (11.1)	2 (11.1)	1 (5.6)	2 (11.1)	5 (27.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (22.2)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)
	その他	1 (4.8)	0 (0.0)	1 (4.8)	2 (9.5)	4 (19.0)	5 (23.8)	1 (4.8)	1 (4.8)	8 (38.1)	0 (0.0)
認知症の程度	軽度	2 (3.8)	1 (1.9)	5 (9.4)	0 (0.0)	11 (20.8)	5 (9.4)	3 (5.7)	4 (7.5)	14 (26.4)	2 (3.8)
	中等度	5 (15.6)	2 (6.3)	3 (9.4)	1 (3.1)	7 (21.9)	1 (3.1)	0 (0.0)	4 (12.5)	10 (31.3)	0 (0.0)
	高度以上	8 (13.1)	1 (1.6)	2 (3.3)	6 (9.8)	22 (36.1)	5 (8.2)	2 (3.3)	6 (9.8)	17 (27.9)	1 (1.6)
〈参考〉第一次調査		10 (10.4)	4 (4.1)	6 (6.2)	5 (5.1)	15 (15.9)	6 (6.2)	2 (2.5)	11 (11.7)	22 (22.6)	

## (2) 現病歴

現在、何らかの疾患で治療を受けている者は総数で87.0%であり、疾病の内訳では「高血圧症」40.4%、「糖尿病」23.3%、「脳卒中」15.1%、「狭心症・心筋梗塞」15.1%であった。

認知症の種類別では、「アルツハイマー型認知症」では、現在何らかの疾患で治療を受けている者は86.9%であり、疾病の内訳では「高血圧症」40.4%、「糖尿病」24.2%、「狭心症・心筋梗塞」14.1%であった。一方、「脳血管性認知症」では、現在何らかの疾患で治療を受けている者は、94.4%であり、疾病の内訳では「脳卒中」61.1%、「高血圧症」55.6%であった（表30）。

表30 現病歴 認知症の種類別・程度別

	総数	あり	ありの内訳（複数回答）								
			糖尿病	高脂血症	甲状腺	うつ病	統合失調症	認知症	パーキンソン病	眼疾患	
総数	146 (100.0)	127 (87.0)	34 (23.3)	14 (9.6)	2 (1.4)	3 (2.1)	0 (0.0)	41 (28.1)	7 (4.8)	9 (6.2)	
アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	86 (86.9)	24 (24.2)	11 (11.1)	2 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	32 (32.3)	3 (3.0)	6 (6.1)	
脳血管性認知症	18 (100.0)	17 (94.4)	3 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	
鑑別困難な認知症	8 (100.0)	5 (62.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	
その他	21 (100.0)	19 (90.5)	5 (23.8)	3 (14.3)	0 (0.0)	2 (9.5)	0 (0.0)	8 (38.1)	3 (14.3)	2 (9.5)	
認知症の種類	軽度	53 (100.0)	44 (83.0)	18 (34.0)	5 (9.4)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	5 (9.4)	1 (1.9)	3 (5.7)
中等度	32 (100.0)	30 (93.7)	8 (25.0)	4 (12.5)	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (31.3)	3 (9.4)	1 (3.1)	
高度以上	61 (100.0)	53 (86.9)	8 (13.1)	5 (8.2)	1 (1.6)	2 (3.3)	0 (0.0)	26 (42.6)	3 (4.9)	5 (8.2)	
<参考>第一次調査			(14.3)	(15.0)	(2.5)	(1.2)	(0.3)	(4.6)	(1.4)	(12.5)	



		ありの内訳 (複数回答)									
		耳疾患	高血 圧症	脳卒中	狭心 症・心 筋梗塞	喘息	慢性閉 塞性肺 疾患	消化器 疾患	歯科口 腔疾患	関節リ ウマチ	関節症
認知症の 種類	総数	3 (2.1)	59 (40.4)	22 (15.1)	22 (15.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (4.1)	3 (2.1)	1 (0.7)	7 (4.8)
	アルツハイマ ー型認知症	2 (2.0)	40 (40.4)	4 (4.0)	14 (14.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (6.1)	3 (3.0)	0 (0.0)	5 (5.1)
	脳血管性 認知症	0 (0.0)	10 (55.6)	11 (61.1)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	1 (5.6)
	鑑別困難 な認知症	1 (12.5)	4 (50.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他	0 (0.0)	5 (23.8)	6 (28.6)	6 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)
認知症の 程度	軽度	2 (3.8)	20 (37.7)	8 (15.1)	7 (13.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.9)	2 (3.8)	0 (0.0)	4 (7.5)
	中等度	1 (3.1)	16 (50.0)	6 (18.8)	6 (18.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.1)	1 (3.1)	1 (3.1)	1 (3.1)
	高度以上	0 (0.0)	23 (37.7)	8 (13.1)	9 (14.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (6.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.3)
<参考>第一次調査		(1.9)	(43.5)	(7.7)	(9.5)	(1.5)	(0.5)	(4.8)	(4.8)	(2.0)	(8.0)

		ありの内訳 (複数回答)									
		骨粗 鬆症	腎疾患	前立腺	婦人科 系疾患	骨折	けが・ 熱傷	血液 疾患	悪性新 生物	その他	なし
認知症の 種類	総数	10 (6.8)	2 (1.4)	7 (4.8)	2 (1.4)	8 (5.5)	2 (1.4)	3 (2.1)	7 (4.8)	24 (16.4)	19 (13.0)
	アルツハイマ ー型認知症	8 (8.1)	2 (2.0)	4 (4.0)	1 (1.0)	5 (5.1)	1 (1.0)	2 (2.0)	5 (5.1)	16 (16.2)	13 (13.1)
	脳血管性 認知症	1 (5.6)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (22.2)	1 (5.6)
	鑑別困難 な認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	3 (37.5)
	その他の 認知症	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)	2 (9.5)	1 (4.8)	1 (4.8)	1 (4.8)	4 (19.0)	2 (9.5)
認知症の 程度	軽度	1 (1.9)	1 (1.9)	3 (5.7)	0 (0.0)	3 (5.7)	1 (1.9)	2 (3.8)	2 (3.8)	5 (9.4)	9 (17.0)
	中等度	4 (12.5)	1 (3.1)	3 (9.4)	0 (0.0)	3 (9.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.3)	8 (25.0)	2 (6.3)
	高度以上	5 (8.2)	0 (0.0)	1 (1.6)	2 (3.3)	2 (3.3)	1 (1.6)	1 (1.6)	3 (4.9)	11 (18.0)	8 (13.1)
<参考>第一次調査		(8.7)	(2.5)	(4.4)	(1.1)	(3.7)	(1.6)	(1.2)	(5.5)	(12.2)	

### (3) 身体合併症

身体所見として、何らかの障害を有している者が80人(54.8%)であった。内訳は「失認」19.2%、「失語」15.8%、「嚥下障害」15.8%であった。

認知症の種類別では、「脳血管性認知症」で、「右麻痺」44.4%、「構音障害」38.9%、「嚥下障害」38.9%、「失語」33.3%、「失認」27.8%と高い割合であった(表31)。

表31 身体所見 認知症の種類別・程度別

	総数	あり	ありの内訳(複数回答)				
			構音障害	嚥下障害	右麻痺	左麻痺	両麻痺
総数	146 (100.0)	80 (54.8)	17 (11.6)	23 (15.8)	13 (8.9)	12 (8.2)	4 (2.7)
アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	47 (47.5)	6 (6.1)	11 (11.1)	3 (3.0)	3 (3.0)	1 (1.0)
脳血管性認知症	18 (100.0)	14 (77.8)	7 (38.9)	7 (38.9)	8 (44.4)	5 (27.8)	3 (16.7)
鑑別困難な認知症	8 (100.0)	6 (75.0)	3 (37.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他の認知症	21 (100.0)	13 (61.9)	1 (4.8)	3 (14.3)	1 (4.8)	4 (19.0)	0 (0.0)
認知症の種類							
軽度	53 (100.0)	15 (28.3)	5 (9.4)	4 (7.5)	3 (5.7)	2 (3.8)	0 (0.0)
中等度	32 (100.0)	14 (43.7)	2 (6.3)	4 (12.5)	3 (9.4)	2 (6.3)	0 (0.0)
高度以上	61 (100.0)	51 (83.6)	10 (16.4)	15 (24.6)	7 (11.5)	8 (13.1)	4 (6.6)

	ありの内訳(複数回答)					
	失語	失認	失行	その他	なし	無回答
総数	23 (15.8)	28 (19.2)	22 (15.1)	22 (15.1)	55 (37.7)	11 (7.5)
アルツハイマー型認知症	15 (15.2)	18 (18.2)	13 (13.1)	15 (15.2)	42 (42.4)	10 (10.1)
脳血管性認知症	6 (33.3)	5 (27.8)	4 (22.2)	1 (5.6)	4 (22.2)	0 (0.0)
鑑別困難な認知症	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	1 (12.5)	1 (12.5)
その他の認知症	1 (4.8)	5 (23.8)	5 (23.8)	4 (19.0)	8 (38.1)	0 (0.0)
認知症の種類						
軽度	2 (3.8)	1 (1.9)	1 (1.9)	7 (13.2)	30 (56.6)	8 (15.1)
中等度	2 (6.3)	3 (9.4)	2 (6.3)	4 (12.5)	16 (50.0)	2 (6.3)
高度以上	19 (31.1)	24 (39.3)	19 (31.1)	11 (18.0)	9 (14.8)	1 (1.6)

#### 4 精神的健康状態

##### (1) 主要精神症状

認知症高齢者の79.5%が何らかの精神症状を有しており、その内訳は「健忘」68.5%、「睡眠障害」12.3%、「妄想」9.6%、「不安」9.6%であった(表32)。

表32 主要精神症状 認知症の種類別・程度別

	合計	主要精神症状あり	ありの内訳(複数回答)							
			健忘	せん妄	幻覚	妄想	被害的念慮	不安	焦燥	
総数	146 (100.0)	116 (79.5)	100 (68.5)	13 (8.9)	13 (8.9)	14 (9.6)	9 (6.2)	14 (9.6)	9 (6.2)	
認知症の種類	アルツハイマ 一型認知症	99 (100.0)	77 (77.8)	70 (70.7)	7 (7.1)	7 (7.1)	8 (8.1)	4 (4.0)	11 (11.1)	8 (8.1)
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	16 (88.9)	11 (61.1)	2 (11.1)	1 (5.6)	1 (5.6)	3 (16.7)	1 (5.6)	1 (5.6)
	鑑別困難 な認知症	8 (100.0)	5 (62.5)	5 (62.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の 認知症	21 (100.0)	18 (85.7)	14 (66.7)	4 (19.0)	5 (23.8)	5 (23.8)	2 (9.5)	2 (9.5)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	36 (67.9)	34 (64.2)	0 (0.0)	2 (3.8)	3 (5.7)	2 (3.8)	2 (3.8)	1 (1.9)
中等度	32 (100.0)	29 (90.6)	25 (78.1)	1 (3.1)	3 (9.4)	1 (3.1)	3 (9.4)	2 (6.3)	1 (3.1)	
高度以上	61 (100.0)	51 (83.6)	41 (67.2)	12 (19.7)	8 (13.1)	10 (16.4)	4 (6.6)	10 (16.4)	7 (11.5)	

	ありの内訳(複数回答)								
	抑うつ	興奮	強迫	心気	意識障害	睡眠障害	その他	無回答	
総数	8 (5.5)	11 (7.5)	1 (0.7)	4 (2.7)	3 (2.1)	18 (12.3)	12 (8.2)	30 (20.5)	
認知症の種類	アルツハイマ 一型認知症	8 (8.1)	7 (7.1)	1 (1.0)	3 (3.0)	2 (2.0)	12 (12.1)	4 (4.0)	22 (22.2)
	脳血管性 認知症	0 (0.0)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (11.1)	4 (22.2)	2 (11.1)
	鑑別困難 な認知症	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)
	その他の 認知症	0 (0.0)	1 (4.8)	0 (0.0)	1 (4.8)	1 (4.8)	4 (19.0)	4 (19.0)	3 (14.3)
	軽度	1 (1.9)	3 (5.7)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	6 (11.3)	1 (1.9)	17 (32.1)
中等度	3 (9.4)	2 (6.3)	0 (0.0)	2 (6.3)	0 (0.0)	3 (9.4)	3 (9.4)	3 (9.4)	
高度以上	4 (6.6)	6 (9.8)	1 (1.6)	1 (1.6)	3 (4.9)	9 (14.8)	8 (13.1)	10 (16.4)	

(2) 疎通性（意思表示・会話理解・情緒的表出）

認知症高齢者総数では、意思表示「乏しい」「ほとんどなし」をあわせると27.4%が「意思表示」が困難であった。「会話理解」も同様に28.8%、「情緒的表出」では24.0%と疎通が困難な状態であった。

認知症の種類別では、「脳血管性認知症」が「アルツハイマー型認知症」より疎通困難の割合が高かった。認知症の程度別では、軽度より高度以上になるにつれ意思表示、会話理解、情緒的表出すべてにおいて困難の割合が高かった（表33）。

表33-1 疎通性（意思表示） 認知症の種類別・程度別

	総数	普通	不完全	乏しい	ほとんどなし	
総数	146 (100.0)	79 (54.1)	27 (18.5)	20 (13.7)	20 (13.7)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	56 (56.6)	20 (20.2)	12 (12.1)	11 (11.1)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	6 (33.3)	2 (11.1)	4 (22.2)	6 (33.3)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	6 (75.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)
	その他の認知症	21 (100.0)	11 (52.4)	4 (19.0)	3 (14.3)	3 (14.3)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	49 (92.5)	2 (3.8)	2 (3.8)	0 (0.0)
	中等度	32 (100.0)	22 (68.8)	6 (18.8)	4 (12.5)	0 (0.0)
	高度以上	61 (100.0)	8 (13.1)	19 (31.1)	14 (23.0)	20 (32.8)

表 33-2 疎通性（会話理解） 認知症の種類別・程度別

	総数	普通	不完全	乏しい	ほとんどなし	
総数	146 (100.0)	70 (47.9)	34 (23.3)	21 (14.4)	21 (14.4)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	49 (49.5)	23 (23.2)	14 (14.1)	13 (13.1)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	7 (38.9)	3 (16.7)	3 (16.7)	5 (27.8)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	5 (62.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)
	その他の認知症	21 (100.0)	9 (42.9)	7 (33.3)	3 (14.3)	2 (9.5)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	45 (84.9)	8 (15.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
	中等度	32 (100.0)	16 (50.0)	12 (37.5)	3 (9.4)	1 (3.1)
	高度以上	61 (100.0)	9 (14.8)	14 (23.0)	18 (29.5)	20 (32.8)

表 33-3 疎通性（情緒的表出） 認知症の種類別・程度別

	合計	普通	不完全	乏しい	ほとんどなし	
総数	146 (100.0)	84 (57.5)	27 (18.5)	20 (13.7)	15 (10.3)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	58 (58.6)	19 (19.2)	12 (12.1)	10 (10.1)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	7 (38.9)	5 (27.8)	2 (11.1)	4 (22.2)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	6 (75.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	21 (100.0)	13 (61.9)	3 (14.3)	4 (19.0)	1 (4.8)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	51 (96.2)	1 (1.9)	1 (1.9)	0 (0.0)
	中等度	32 (100.0)	21 (65.6)	10 (31.3)	1 (3.1)	0 (0.0)
	高度以上	61 (100.0)	12 (19.7)	16 (26.2)	18 (29.5)	15 (24.6)

## 5 受診までの経過

### (1) 中核症状や周辺症状の有無、気付いた時期及び理由

中核症状や周辺症状の「気づきあり」は総数で 93.2%、「気づきなし」は 6.8%であった。認知症の種類別では、「アルツハイマー型認知症」では 92.9%、「脳血管性認知症」は 100.0%であった。

症状に気付いた時期は、総数では「50歳代」2.1%、「60歳代」8.2%、「70歳代」35.6%、「80歳代以上」45.2%であった。認知症の種類別では、「アルツハイマー型認知症」は「80歳代」47.5%、「脳血管性認知症」は「70歳代」44.4%であった（表 34）。

中核症状や周辺症状に気付いた理由は、総数では「物忘れ」74.0%、「記憶力低下」54.1%、「理解力、判断力の低下」34.9%、「意欲・関心の低下」19.9%であった（表 35）。

表 34 中核症状や周辺症状に気付いた時期 認知症の種類別・程度別

	総数	気づき	気付いた時期									気づき	
		あり	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85歳 以上	無回 答	なし	
総数	146 (100.0)	136 (93.2)	1 (0.7)	2 (1.4)	1 (0.7)	11 (7.5)	20 (13.7)	32 (21.9)	35 (24.0)	31 (21.2)	3 (2.1)	10 (6.8)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	92 (92.9)	0 (0.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	4 (4.0)	16 (16.2)	20 (20.2)	24 (24.2)	23 (23.2)	3 (3.0)	7 (7.1)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	18 (100.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	4 (22.2)	3 (16.7)	5 (27.8)	2 (11.1)	3 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	2 (25.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	1 (12.5)
	その他の認知症	21 (100.0)	19 (90.5)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (9.5)	0 (0.0)	6 (28.6)	7 (33.3)	3 (14.3)	0 (0.0)	2 (9.5)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	43 (81.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (11.3)	6 (11.3)	10 (18.9)	12 (22.6)	8 (15.1)	1 (1.9)	10 (18.9)
	中等度	32 (100.0)	32 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.1)	1 (3.1)	4 (12.5)	7 (21.9)	8 (25.0)	10 (31.3)	1 (3.1)	10 (31.3)
	高度以上	61 (100.0)	61 (100.0)	1 (1.6)	2 (3.3)	0 (0.0)	4 (6.6)	10 (16.4)	15 (24.6)	15 (24.6)	13 (21.3)	1 (1.6)	0 (0.0)

表 35 中核症状や周辺症状に気付いた理由 認知症の種類別・程度別

	総数	気づいた理由あり	ありの内訳（複数回答）					意欲・関心の低下	幻覚・妄想
			物忘れ	記銘力低下	理解力・判断力低下	脳卒中発作			
総数	146 (100.0)	136 (93.2)	108 (74.0)	79 (54.1)	51 (34.9)	18 (12.3)	29 (19.9)	23 (15.8)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	92 (92.9)	76 (76.8)	57 (57.6)	33 (33.3)	1 (1.0)	18 (18.2)	15 (15.2)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	18 (100.0)	11 (61.1)	11 (61.1)	9 (50.0)	15 (83.3)	4 (22.2)	2 (11.1)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	7 (87.5)	7 (87.5)	4 (50.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)
	その他の認知症	21 (100.0)	19 (90.5)	14 (66.7)	7 (33.3)	6 (28.6)	2 (9.5)	6 (28.6)	6 (28.6)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	43 (81.1)	39 (73.6)	26 (49.1)	7 (13.2)	4 (7.5)	5 (9.4)	4 (7.5)
	中等度	32 (100.0)	32 (100.0)	26 (81.3)	20 (62.5)	16 (50.0)	4 (12.5)	12 (37.5)	5 (15.6)
	高度以上	61 (100.0)	61 (100.0)	43 (70.5)	33 (54.1)	28 (45.9)	10 (16.4)	12 (19.7)	14 (23.0)

	ありの内訳（複数回答）						気づきなし	
	迷子	徘徊	失禁	歩行障害	その他	無回答		
総数	7 (4.8)	12 (8.2)	14 (9.6)	14 (9.6)	16 (11.0)	3 (2.1)	10 (6.8)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	5 (5.1)	9 (9.1)	7 (7.1)	7 (7.1)	12 (12.1)	3 (3.0)	7 (7.1)
	脳血管性認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (16.7)	4 (22.2)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)
	その他の認知症	2 (9.5)	3 (14.3)	3 (14.3)	3 (14.3)	3 (14.3)	0 (0.0)	2 (9.5)
認知症の程度	軽度	2 (3.8)	0 (0.0)	3 (5.7)	3 (5.7)	1 (1.9)	0 (0.0)	10 (18.9)
	中等度	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (12.5)	5 (15.6)	3 (9.4)	1 (3.1)	10 (31.3)
	高度以上	5 (8.2)	12 (19.7)	7 (11.5)	6 (9.8)	12 (19.7)	2 (3.3)	0 (0.0)

## (2) 周辺症状や中核症状に気付いてからの受診等

総数では、中核症状や周辺症状に気付いてからの受診「あり」は60.3%であった。

認知症の種類別では、「アルツハイマー型認知症」56.5%、「脳血管性認知症」72.2%であった。認知症の程度では、「軽度」37.2%、「中等度」56.3%、「高度以上」78.7%であった（表36）。

受診科は、「内科」53.7%と最も多く、次いで「精神神経科」26.8%、「脳神経外科」22.0%であった（表37）。

受診までの期間は、「半年以内」が46.3%で最も多く、次いで「1～2年未満」15.9%、「2～3年未満」9.8%であった（表38）。

表36 周辺症状や中核症状に気付いてからの受診

	総数	あり	なし	無回答	
総数	136 (100.0)	82 (60.3)	52 (38.2)	2 (1.5)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	92 (100.0)	52 (56.5)	39 (42.4)	1 (1.1)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	13 (72.2)	4 (22.2)	1 (5.6)
	鑑別困難な認知症	7 (100.0)	1 (14.3)	6 (85.7)	0 (0.0)
	その他の認知症	19 (100.0)	16 (84.2)	3 (15.8)	0 (0.0)

表37 中核症状や周辺症状に気付いてからの受診科

	総数	精神科	脳神経外科	内科	神経内科	心療内科	その他	無回答
総数	82 (100.0)	22 (26.8)	18 (22.0)	44 (53.7)	10 (12.2)	1 (1.2)	3 (3.7)	1 (1.2)
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	18 (100.0)	6 (11.5)	29 (55.8)	6 (11.5)	1 (1.9)	3 (5.8)	0 (0.0)
	脳血管性認知症	13 (100.0)	0 (0.0)	8 (61.5)	4 (30.8)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (7.7)
	鑑別困難な認知症	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	16 (100.0)	4 (25.0)	4 (25.0)	10 (62.5)	3 (18.8)	0 (0.0)	0 (0.0)



表 38 中核症状や周辺症状に気付いてから受診までの期間

	総数	半年以内	7ヶ月～1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5年以上	無回答	
総数	82 (100.0)	38 (46.3)	5 (6.1)	13 (15.9)	8 (9.8)	6 (7.3)	4 (4.9)	8 (9.8)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	52 (100.0)	16 (30.8)	3 (5.8)	12 (23.1)	7 (13.5)	5 (9.6)	3 (5.8)	6 (11.5)
	脳血管性認知症	13 (100.0)	12 (92.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)
	鑑別困難な認知症	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	16 (100.0)	9 (56.3)	2 (12.5)	1 (6.3)	1 (6.3)	1 (6.3)	1 (6.3)	1 (6.3)

## 6 介護の状況

### (1) 周辺症状の有無と介護者の悩み

認知症高齢者のうち周辺症状がある者（「時々」「よく」ある）は総数では 61.6%であり、その内訳は「攻撃」19.2%、「興奮」17.8%、「不潔」「介護への抵抗」16.4%であった。

認知症の種類別では、脳血管性認知症と比べ、アルツハイマー型認知症に高い症状として、「攻撃」「過食」「異食」「夜家族を起こす」があった。（表 39）。

周辺症状がある者のうち、介護者がその症状や行動に対し悩みがある（「少し」「大いに」）と回答した者の割合は、すべての項目で 80%以上であった（表 40）。

表 39 周辺症状の有無 認知症の種類別・程度別

	総数	症状 あり	ありの内訳（複数回答）					火の不始末	濫集
			攻撃	不潔	徘徊	興奮			
総数	146 (100.0)	90 (61.6)	28 (19.2)	24 (16.4)	16 (11.0)	26 (17.8)	12 (8.2)	9 (6.1)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	64 (64.6)	18 (18.1)	15 (15.2)	11 (11.2)	16 (16.1)	8 (8.1)	7 (7.0)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	9 (50.0)	2 (11.1)	3 (16.7)	2 (11.2)	4 (22.2)	1 (5.6)	1 (5.6)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)
	その他の認知症	21 (100.0)	16 (76.2)	7 (33.4)	5 (23.8)	3 (14.3)	6 (28.5)	3 (14.3)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	26 (49.1)	5 (9.4)	9 (16.9)	3 (5.7)	4 (7.6)	7 (13.2)	3 (5.7)
認知症の程度	中等度	32 (100.0)	23 (71.9)	4 (12.5)	4 (12.5)	1 (3.1)	6 (18.7)	3 (9.4)	2 (6.3)
	高度以上	61 (100.0)	43 (70.5)	19 (31.2)	11 (18.0)	12 (19.6)	16 (26.2)	2 (3.2)	4 (6.6)

  

	ありの内訳（複数回答）							
	乱費	過食	異食	虚言	弄便	盗み	性的異常行動	
総数	2 (1.4)	13 (8.9)	8 (5.5)	11 (7.6)	11 (7.5)	2 (1.4)	0 (0.0)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	2 (2.0)	11 (11.2)	7 (7.0)	5 (5.0)	8 (8.1)	2 (2.0)	0 (0.0)
	脳血管性認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	0 (0.0)	2 (9.6)	1 (4.8)	5 (23.8)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
	軽度	2 (3.8)	1 (1.9)	1 (1.9)	4 (7.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
認知症の程度	中等度	0 (0.0)	4 (12.5)	0 (0.0)	3 (9.4)	2 (6.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高度以上	0 (0.0)	8 (13.2)	7 (11.5)	4 (6.6)	9 (14.8)	2 (3.3)	0 (0.0)

		ありの内訳（複数回答）						
		外出	大声	家族を 起こす	昼夜 逆転	介護へ の抵抗	家族を 離さない	その他
総数		7 (4.8)	17 (11.6)	18 (12.4)	21 (14.4)	24 (16.4)	10 (6.9)	17 (11.6)
認知症の 種類	アルツハイマ ー型認知症	6 (6.0)	10 (10.1)	15 (15.1)	13 (13.1)	16 (16.1)	9 (9.1)	15 (15.2)
	脳血管性 認知症	0 (0.0)	2 (11.1)	1 (5.6)	4 (22.2)	4 (22.2)	0 (0.0)	1 (5.6)
	鑑別困難 な認知症	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の 認知症	1 (4.8)	4 (19.0)	2 (9.5)	4 (19.0)	4 (19.1)	1 (4.8)	1 (4.8)
	軽度	2 (3.8)	2 (3.8)	3 (5.7)	5 (9.4)	3 (5.7)	3 (5.7)	5 (9.4)
認知症の 程度	中等度	2 (6.3)	3 (9.4)	4 (12.5)	4 (12.5)	1 (3.1)	2 (6.3)	3 (9.4)
	高度以上	3 (4.9)	12 (19.7)	11 (18.1)	12 (19.7)	20 (32.8)	5 (8.2)	9 (14.8)

表 40 症状がある者のうち介護者の悩みのある者 認知症の種類別・程度別

		攻撃	不潔	徘徊	興奮	火の 不始末	濫集	乱費
総数		27 (96.4)	22 (91.7)	16 (100.0)	26 (100.0)	12 (100.0)	9 (100.0)	2 (100.0)
認知症の 種類	アルツハイマ ー型認知症	17 (94.5)	13 (86.7)	11 (100.0)	16 (100.0)	8 (100.0)	7 (100.0)	2 (100.0)
	脳血管性 認知症	2 (100.0)	3 (100.0)	2 (100.0)	4 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
	鑑別困難 な認知症	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
	その他	7 (100.0)	5 (100.0)	3 (100.0)	6 (100.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	軽度	5 (100.0)	8 (88.9)	3 (100.0)	4 (100.0)	7 (100.0)	3 (100.0)	2 (100.0)
認知症の 程度	中等度	4 (100.0)	3 (75.0)	1 (100.0)	6 (100.0)	3 (100.0)	2 (100.0)	0 (0.0)
	高度以上	18 (94.8)	11 (100.0)	12 (100.0)	16 (100.1)	2 (100.0)	4 (100.0)	0 (0.0)

※（ ）内は表 39 のそれぞれの該当項目を 100.0%とした場合の比率

	過食	異食	虚言	弄便	盗み	性的異常行動	外出
総数	13 (100.0)	8 (100.0)	11 (100.0)	11 (100.0)	2 (100.0)	- (-)	6 (85.7)
アルツハイマ 一型認知症	11 (100.0)	7 (100.0)	5 (100.0)	8 (100.0)	2 (100.0)	- (-)	5 (83.4)
脳血管性 認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.0)
鑑別困難 な認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.0)
その他	2 (100.0)	1 (100.0)	5 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	- (-)	1 (100.0)
認知症の 種類							
軽度	1 (100.0)	1 (100.0)	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	2 (100.0)
中等度	4 (100.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	- (-)	2 (100.0)
高度以上	8 (100.0)	7 (100.0)	4 (100.0)	9 (100.0)	2 (100.0)	- (-)	2 (66.6)
認知症の 程度							

	大声	家族を 起こす	昼夜 逆転	介護へ の抵抗	家族を 離さない	その他
総数	17 (100.0)	17 (94.5)	21 (100.0)	23 (95.8)	10 (100.0)	16 (94.2)
アルツハイマ 一型認知症	10 (100.0)	14 (93.3)	13 (100.0)	15 (93.8)	9 (100.0)	14 (93.3)
脳血管性 認知症	2 (100.0)	1 (100.0)	4 (100.0)	4 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
鑑別困難 な認知症	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	4 (100.0)	2 (100.0)	4 (100.0)	4 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)
認知症の 種類						
軽度	2 (100.0)	3 (100.0)	5 (100.0)	2 (66.6)	3 (100.0)	5 (100.0)
中等度	3 (100.0)	4 (100.0)	4 (100.0)	1 (100.0)	2 (100.0)	3 (100.0)
高度以上	12 (100.0)	10 (90.9)	12 (100.0)	20 (100.0)	5 (100.0)	8 (88.9)
認知症の 程度						

## (2) 介護内容

日常生活動作に関する具体的な介護内容（食事、更衣、排泄）について、見守りや一部介助、全介助をあわせた何らかの介護を要する者の割合は、総数では「食事」37.7%、「更衣」61.0%、「排泄」58.9%、であった。「アルツハイマー型認知症」と「脳血管性認知症」を比べると、「全介助」は全ての項目において、「脳血管性認知症」の割合が高かった。調査場所別では、いずれの項目も、「在宅」より「入院」、「入所」に介護を要する割合が高かった。

手段的日常生活動作に関する具体的な介護内容（電話の対応、買い物、服薬管理、意思の伝達、日課の理解）（その行為をする必要のある者が回答）は、見守りや一部介助、全介助をあわせた何らかの介護を要する者の割合は、「電話の対応」64.4%、「買い物」67.8%、「服薬管理」76.7%、「意思の伝達」46.6%、「日課の理解」54.8%であった（表41）。

表41-1 介護の具体的な内容（食事） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	91 (62.3)	19 (13.0)	11 (7.5)	25 (17.1)	0 (0.0)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	62 (62.6)	15 (15.2)	7 (7.1)	15 (15.2)	0 (0.0)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	9 (50.0)	2 (11.1)	1 (5.6)	6 (33.3)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	21 (100.0)	13 (61.9)	2 (9.5)	2 (9.5)	4 (19.0)	0 (0.0)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	50 (94.3)	3 (5.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	中等度	32 (100.0)	22 (68.8)	7 (21.9)	2 (6.3)	1 (3.1)	0 (0.0)
	高度以上	61 (100.0)	19 (31.1)	9 (14.8)	9 (14.8)	24 (39.3)	0 (0.0)
場所	在宅	87 (100.0)	70 (80.5)	12 (13.8)	1 (1.1)	4 (4.6)	0 (0.0)
	入院中	13 (100.0)	3 (23.1)	0 (0.0)	2 (15.4)	8 (61.5)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	18 (39.1)	7 (15.2)	8 (17.4)	13 (28.3)	0 (0.0)

表 41-2 介護の具体的内容（更衣） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	57 (39.0)	22 (15.1)	23 (15.8)	44 (30.1)	0 (0.0)	
認知症の種類	アルツハイマ 一型認知症	99 (100.0)	37 (37.4)	17 (17.2)	18 (18.2)	27 (27.3)	0 (0.0)
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	6 (33.3)	2 (11.1)	2 (11.1)	8 (44.4)	0 (0.0)
	鑑別困難な 認知症	8 (100.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)
	その他の 認知症	21 (100.0)	7 (33.3)	3 (14.3)	3 (14.3)	8 (38.1)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	42 (79.2)	9 (17.0)	0 (0.0)	2 (3.8)	0 (0.0)
中等度	32 (100.0)	10 (31.3)	5 (15.6)	11 (34.4)	6 (18.8)	0 (0.0)	
高度以上	61 (100.0)	5 (8.2)	8 (13.1)	12 (19.7)	36 (59.0)	0 (0.0)	
場所	在宅	87 (100.0)	55 (63.2)	11 (12.6)	10 (11.5)	11 (12.6)	0 (0.0)
	入院中	13 (100.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	1 (7.7)	11 (84.6)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	2 (4.3)	10 (21.7)	12 (26.1)	22 (47.8)	0 (0.0)

表 41-3 介護の具体的内容（排泄） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	60 (41.1)	10 (6.8)	29 (19.9)	47 (32.2)	0 (0.0)	
認知症の種類	アルツハイマ 一型認知症	99 (100.0)	41 (41.4)	5 (5.1)	23 (23.2)	30 (30.3)	0 (0.0)
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	7 (38.9)	1 (5.6)	2 (11.1)	8 (44.4)	0 (0.0)
	鑑別困難な 認知症	8 (100.0)	5 (62.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)
	その他の 認知症	21 (100.0)	7 (33.3)	3 (14.3)	3 (14.3)	8 (38.1)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	41 (77.4)	4 (7.5)	6 (11.3)	2 (3.8)	0 (0.0)
中等度	32 (100.0)	12 (37.5)	3 (9.4)	8 (25.0)	9 (28.1)	0 (0.0)	
高度以上	61 (100.0)	7 (11.5)	3 (4.9)	15 (24.6)	36 (59.0)	0 (0.0)	
場所	在宅	87 (100.0)	58 (66.7)	7 (8.0)	11 (12.6)	11 (12.6)	0 (0.0)
	入院中	13 (100.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	12 (92.3)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	2 (4.3)	2 (4.3)	18 (39.1)	24 (52.2)	0 (0.0)

表 41-4 介護の具体的内容（電話の対応） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	43 (29.5)	10 (6.8)	10 (6.8)	74 (50.7)	9 (6.2)	
認知症の種類	アルツハイマ ー型認知症	99 (100.0)	29 (29.3)	8 (8.1)	10 (10.1)	45 (45.5)	7 (7.1)
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	6 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (55.6)	2 (11.1)
	鑑別困難な 認知症	8 (100.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (62.5)	0 (0.0)
	その他の 認知症	21 (100.0)	5 (23.8)	2 (9.5)	0 (0.0)	14 (66.7)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	34 (64.2)	7 (13.2)	2 (3.8)	8 (15.1)	2 (3.8)
中等度	32 (100.0)	8 (25.0)	1 (3.1)	2 (6.3)	19 (59.4)	2 (6.3)	
高度以上	61 (100.0)	1 (1.6)	2 (3.3)	6 (9.8)	47 (77.0)	5 (8.2)	
場所	在宅	87 (100.0)	41 (47.1)	8 (9.2)	4 (4.6)	31 (35.6)	3 (3.4)
	入院中	13 (100.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	12 (92.3)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	2 (4.3)	1 (2.2)	6 (13.0)	31 (67.4)	6 (13.0)

表 41-5 介護の具体的内容（買い物） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	34 (23.3)	7 (4.8)	14 (9.6)	78 (53.4)	13 (8.9)	
認知症の種類	アルツハイマ ー型認知症	99 (100.0)	23 (23.2)	4 (4.0)	11 (11.1)	50 (50.5)	11 (11.1)
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	3 (16.7)	2 (11.1)	1 (5.6)	10 (55.6)	2 (11.1)
	鑑別困難な 認知症	8 (100.0)	4 (50.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	3 (37.5)	0 (0.0)
	その他の 認知症	21 (100.0)	4 (19.0)	1 (4.8)	1 (4.8)	15 (71.4)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	28 (52.8)	6 (11.3)	4 (7.5)	11 (20.8)	4 (7.5)
中等度	32 (100.0)	5 (15.6)	0 (0.0)	2 (6.3)	20 (62.5)	5 (15.6)	
高度以上	61 (100.0)	1 (1.6)	1 (1.6)	8 (13.1)	47 (77.0)	4 (6.6)	
場所	在宅	87 (100.0)	33 (37.9)	5 (5.7)	9 (10.3)	32 (36.8)	8 (9.2)
	入院中	13 (100.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	12 (92.3)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	1 (2.2)	1 (2.2)	5 (10.9)	34 (73.9)	5 (10.9)

表 41-6 介護の具体的内容（服薬管理） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	31 (21.2)	13 (8.9)	27 (18.5)	72 (49.3)	3 (2.1)	
認知症の種類	アルツハイマ ー型認知症	99 (100.0)	18 (18.2)	11 (11.1)	18 (18.2)	50 (50.5)	2 (2.0)
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	6 (33.3)	0 (0.0)	2 (11.1)	10 (55.6)	0 (0.0)
	鑑別困難な 認知症	8 (100.0)	4 (50.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)
	その他の認 知症	21 (100.0)	3 (14.3)	1 (4.8)	6 (28.6)	11 (52.4)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	26 (49.1)	8 (15.1)	11 (20.8)	6 (11.3)	2 (3.8)
中等度	32 (100.0)	3 (9.4)	4 (12.5)	10 (31.3)	14 (43.8)	1 (3.1)	
高度以上	61 (100.0)	2 (3.3)	1 (1.6)	6 (9.8)	52 (85.2)	0 (0.0)	
場所	在宅	87 (100.0)	31 (35.6)	12 (13.8)	16 (18.4)	25 (28.7)	3 (3.4)
	入院中	13 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	12 (92.3)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	0 (0.0)	1 (2.2)	10 (21.7)	35 (76.1)	0 (0.0)

表 41-7 介護の具体的内容（意思の伝達） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	78 (53.4)	32 (21.9)	10 (6.8)	26 (17.8)	0 (0.0)	
認知症の種類	アルツハイマ ー型認知症	99 (100.0)	54 (54.5)	21 (21.2)	7 (7.1)	17 (17.2)	0 (0.0)
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	6 (33.3)	5 (27.8)	1 (5.6)	6 (33.3)	0 (0.0)
	鑑別困難な 認知症	8 (100.0)	6 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の認 知症	21 (100.0)	12 (57.1)	4 (19.0)	2 (9.5)	3 (14.3)	0 (0.0)
	軽度	53 (100.0)	48 (90.6)	4 (7.5)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)
中等度	32 (100.0)	19 (59.4)	11 (34.4)	2 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	
高度以上	61 (100.0)	11 (18.0)	17 (27.9)	8 (13.1)	25 (41.0)	0 (0.0)	
場所	在宅	87 (100.0)	62 (71.3)	18 (20.7)	2 (2.3)	5 (5.7)	0 (0.0)
	入院中	13 (100.0)	1 (7.7)	2 (15.4)	3 (23.1)	7 (53.8)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	15 (32.6)	12 (26.1)	5 (10.9)	14 (30.4)	0 (0.0)



表 41-8 介護の具体的内容（日課の理解） 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	自立	見守り	一部介助	全面介助	無回答	
総数	146 (100.0)	64 (43.8)	20 (13.7)	20 (13.7)	40 (27.4)	2 (1.4)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	40 (40.4)	16 (16.2)	14 (14.1)	27 (27.3)	2 (2.0)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	7 (38.9)	2 (11.1)	2 (11.1)	7 (38.9)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	6 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	21 (100.0)	11 (52.4)	0 (0.0)	4 (19.0)	6 (28.6)	0 (0.0)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	46 (86.8)	4 (7.5)	2 (3.8)	1 (1.9)	0 (0.0)
	中等度	32 (100.0)	13 (40.6)	9 (28.1)	7 (21.9)	3 (9.4)	0 (0.0)
	高度以上	61 (100.0)	5 (8.2)	7 (11.5)	11 (18.0)	36 (59.0)	2 (3.3)
場所	在宅	87 (100.0)	55 (63.2)	11 (12.6)	12 (13.8)	9 (10.3)	0 (0.0)
	入院中	13 (100.0)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	10 (76.9)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	8 (17.4)	8 (17.4)	7 (15.2)	21 (45.7)	2 (4.3)

### (3) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者のうち日常生活自立度Ⅱ以上の割合は、総数の70.5%であった(表42)。

表42 日常生活自立度 認知症の種類別・程度別・場所別

	総合	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	無回答	
総数	146 (100.0)	41 (28.1)	9 (6.2)	29 (19.9)	20 (13.7)	5 (3.4)	35 (24.0)	5 (3.4)	2 (1.4)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	28 (28.3)	6 (6.1)	17 (17.2)	14 (14.1)	5 (5.1)	24 (24.2)	4 (4.0)	1 (1.0)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	5 (27.8)	1 (5.6)	3 (16.7)	2 (11.1)	0 (0.0)	6 (33.3)	1 (5.6)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	5 (62.5)	1 (12.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	21 (100.0)	3 (14.3)	1 (4.8)	7 (33.3)	4 (19.0)	0 (0.0)	5 (23.8)	0 (0.0)	1 (4.8)
認知症の程度	軽度	53 (100.0)	36 (67.9)	6 (11.3)	7 (13.2)	3 (5.7)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
	中等度	32 (100.0)	4 (12.5)	3 (9.4)	13 (40.6)	9 (28.1)	2 (6.3)	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高度以上	61 (100.0)	1 (1.6)	0 (0.0)	9 (14.8)	8 (13.1)	3 (4.9)	33 (54.1)	5 (8.2)	2 (3.3)
場所	在宅	87 (100.0)	40 (46.0)	7 (8.0)	21 (24.1)	8 (9.2)	0 (0.0)	9 (10.3)	1 (1.1)	1 (1.1)
	入院中	13 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (23.1)	3 (23.1)	1 (7.7)	5 (38.5)	1 (7.7)	0 (0.0)
	入所中	46 (100.0)	1 (2.2)	2 (4.3)	5 (10.9)	9 (19.6)	4 (8.7)	21 (45.7)	3 (6.5)	1 (2.2)

## 7 介護保険に関する現状

### (1) 要介護認定

認知症高齢者 146 人のうち、要支援 1～要介護 5 に該当した者（以下、要介護認定者）は 110 人（75.3%）であり、申請をしていない者は 36 人（24.7%）、申請中 0 人（0.0%）であった。要介護認定を受けている者の要介護度は、「要支援 1」2.7%、「要支援 2」0.9%、「要介護 1」15.5%、「要介護 2」19.1%、「要介護 3」20.0%、「要介護 4」25.5%、「要介護 5」16.4%であった。

認知症の種類別では、要介護認定を受けている者は「アルツハイマー型認知症」73.7%で、その要介護度は「要介護 4」30.1%が最も高かった。「脳血管性認知症」83.3%で、その要介護度は「要介護 5」40.0%が最も高かった。

認知症の程度別では、要介護認定を受けている者は「軽度」45.3%で、その要介護度は「要介護 1」が 33.3%で最も高かった。同様に「中等度」81.2%で、その要介護度は「要介護 2」「要介護 3」26.9%で高かった。「高度以上」98.4%、要介護度は「要介護 4」30.0%、「要介護 5」28.3%の順で高かった。

調査場所別では、「在宅」で要介護認定を受けている者は 59.8%、その要介護度は「要介護 1」30.8%が最も高かった。同様に「入院」92.3%、その要介護度は「要介護 5」46.2%が最も高く、「入所」100.0%、その要介護度は「要介護 4」37.0%が最も高かった。入院・入所者の要介護度が高い傾向があった（表 43）。

表 43 要介護認定 疾患・程度・調査場所別 （%：総数に対する）

	合計	受けて いる	認定ありの内訳 <%；要介護認定者に対する>					申請し ていな い			
			要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3		要介護 4	要介護 5	
総数	146 (100.0)	110 (75.3)	3 <2.7>	1 <0.9>	17 <15.5>	21 <19.1>	22 <20.0>	28 <25.5>	18 <16.4>	36 (24.7)	
認知症の 種類	アルツハイマ ー型認知症	99 (100.0)	1 <1.4>	1 <1.4>	13 <17.8>	11 <15.1>	16 <21.9>	22 <30.1>	9 <12.3>	26 (26.3)	
	脳血管性 認知症	18 (100.0)	1 <6.7>	0 <0.0>	1 <6.7>	4 <26.7>	1 <6.7>	2 <13.3>	6 <40.0>	3 (16.7)	
	鑑別困難な 認知症	8 (100.0)	1 <50.0>	0 <0.0>	1 <25.0>	0 <0.0>	2 <50.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	4 (50.0)	
	その他の 認知症	21 (100.0)	18 (85.7)	0 <0.0>	0 <0.0>	2 <11.1>	6 <33.3>	3 <16.7>	4 <22.2>	3 <16.7>	3 (14.3)
認知症の 程度	軽度	53 (100.0)	3 <12.5>	0 <0.0>	8 <33.3>	5 <20.8>	4 <16.7>	4 <16.7>	0 <0.0>	29 (54.7)	
	中等度	32 (100.0)	0 <0.0>	0 <0.0>	5 <19.2>	7 <26.9>	7 <26.9>	6 <23.1>	1 <3.8>	6 (18.8)	
	高度以上	61 (100.0)	60 (98.4)	0 <0.0>	1 <1.7>	4 <6.7>	9 <15.0>	11 <18.3>	18 <30.0>	17 <28.3>	1 (1.6)
場 所	在宅	87 (100.0)	3 <5.8>	1 <1.9>	16 <30.8>	10 <19.2>	12 <23.1>	7 <13.5>	3 <5.8>	35 (40.2)	
	入院中	13 (100.0)	12 (92.3)	0 <0.0>	0 <0.0>	1 <8.3>	0 <0.0>	1 <8.3>	4 <33.3>	6 <50.0>	1 (7.7)
	入所中	46 (100.0)	46 (100.0)	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	11 <23.9>	9 <19.6>	17 <37.0>	9 <19.6>	0 (0.0)

## (2) 介護サービス等の利用

要介護認定者で「サービス利用あり」の者は85.5%で、利用区分は「居宅介護サービス」39.1%、「施設介護サービス」46.4%であった。要介護認定者のうち、「サービス未利用」の者は12.7%であった。認知症の種類別のサービス利用者は、「アルツハイマー型認知症」87.7%、「脳血管性認知症」73.3%であった。認知症の程度別のサービス利用者は、「軽度」79.2%、「中等度」76.9%、「高度以上」91.7%であった（表44）。

在宅でサービスを利用している者45名の内訳は、「通所介護」64.4%、「福祉用具貸与」46.7%、「短期入所生活介護」37.8%であった。通所系サービスの利用が訪問系サービスより多く利用されていた。「訪問入浴」「訪問リハビリテーション」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」の利用はなかった。また、利用者が10人以上いたサービスのうち、満足度で「満足」とした者は、「短期入所生活介護」64.7%、「住宅改修」63.6%、「通所介護」55.2%であった（表45）。

住宅改修をした者は、12名（12.8%）であった。調査場所別では「在宅者」の11人（24.4%）であった（表46）。

表44 介護保険サービスの利用 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	あり	ありの内訳（複数回答）			なし	無回答	
			居宅介護サービス	施設介護サービス	介護予防サービス			
総数	110 (100.0)	94 (85.5)	43 (39.1)	51 (46.4)	0 (0.0)	14 (12.7)	2 (1.8)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	73 (100.0)	64 (87.7)	27 (37.0)	37 (50.7)	0 (0.0)	7 (9.6)	2 (2.7)
	脳血管性認知症	15 (100.0)	11 (73.3)	5 (33.3)	6 (40.0)	0 (0.0)	4 (26.7)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	4 (100.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	18 (100.0)	17 (94.4)	9 (50.0)	8 (44.4)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)
	軽度	24 (100.0)	19 (79.2)	13 (54.2)	6 (25.0)	0 (0.0)	5 (20.8)	0 (0.0)
認知症の程度	中等度	26 (100.0)	20 (76.9)	9 (34.6)	11 (42.3)	0 (0.0)	5 (19.2)	1 (3.8)
	高度以上	60 (100.0)	55 (91.7)	21 (35.0)	34 (56.7)	0 (0.0)	4 (6.7)	1 (1.7)

表 45 在宅介護サービス（在宅者・要介護認定者）の内容と満足度

サービス内容	人数	%	満足度	
			満足	%
通所介護	29	(64.4)	16	(55.2)
福祉用具の貸与	21	(46.7)	9	(42.9)
短期入所生活介護	17	(37.8)	11	(64.7)
訪問介護	11	(24.4)	5	(45.5)
住宅改修	11	(24.4)	7	(63.6)
認知症対応型通所介護	6	(13.3)	4	(66.7)
通所リハビリテーション	5	(11.1)	3	(60.0)
訪問看護	4	(8.9)	2	(50.0)
短期入所療養介護	2	(4.4)	2	(100.0)
施設入浴	0	(0.0)		
訪問リハビリテーション	0	(0.0)		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	(0.0)		
夜間対応型訪問看護	0	(0.0)		
特定施設入居者生活介護	0	(0.0)		
グループホーム	0	(0.0)		
在宅介護サービス利用者	45	(100.0)		

表 46 住宅改修 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	あり	なし	無回答	
総数	94 (100.0)	12 (12.8)	74 (78.7)	8 (8.5)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	64 (100.0)	5 (7.8)	51 (79.7)	8 (12.5)
	脳血管性認知症	11 (100.0)	2 (18.2)	9 (81.8)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	2 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	17 (100.0)	5 (29.4)	12 (70.6)	0 (0.0)
認知症の程度	軽度	19 (100.0)	4 (21.1)	14 (73.7)	1 (5.3)
	中等度	20 (100.0)	3 (15.0)	17 (85.0)	0 (0.0)
	高度以上	55 (100.0)	5 (9.1)	43 (78.2)	7 (12.7)
場所	在宅	45 (100.0)	11 (24.4)	34 (75.6)	0 (0.0)
	入院中	5 (100.0)	0 (0.0)	3 (60.0)	2 (40.0)
	入所中	44 (100.0)	1 (2.3)	37 (84.1)	6 (13.6)

### (3) 介護保険以外のサービスの利用

認知症高齢者のうち、「特定健康診査後期高齢者健康診査等」以外で多く利用している介護保険以外のサービスは、「介護用品の支給」4.8%、配食サービス4.1%であった。また、「徘徊高齢者探索・早期発見サービス」や「緊急時通報システム」の利用はなかった（表47）。

表 47-1 介護保険以外のサービスの利用 認知症の種類別・程度別・場所別

	総数	配食サービス	外出支援	軽度家事援助	家族介護教室交流会	介護用品の支給	その他	徘徊高齢者探索・早期発見サービス	緊急時通報システム	福祉用具・住宅改修支援事業	保健所や市町村の相談・家庭訪問	特定健康診査後期高齢者健康診査等	
総数	146 (100.0)	6 (4.1)	1 (0.6)	1 (0.6)	2 (1.3)	7 (4.8)	3 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (3.4)	5 (3.4)	37 (25.3)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	99 (100.0)	4 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.0)	4 (4.0)	2 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (3.0)	4 (4.0)	25 (25.3)
	脳血管性認知症	18 (100.0)	1 (5.5)	1 (5.5)	1 (5.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (11.1)	0 (0.0)	4 (22.2)
	鑑別困難な認知症	8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	3 (37.5)
	その他の認知症	21 (100.0)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)	2 (9.5)	1 (4.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (23.8)
	軽度	53 (100.0)	2 (3.8)	1 (1.9)	1 (1.9)	0 (0.0)	2 (3.8)	1 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.8)	1 (1.9)	20 (37.7)
認知症の程度	中等度	32 (100.0)	3 (9.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.1)	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.1)	2 (6.3)	7 (21.9)
	高度以上	61 (100.0)	1 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	4 (6.6)	1 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	2 (3.3)	10 (16.4)
	在宅	87 (100.0)	6 (6.9)	1 (1.1)	1 (1.1)	2 (2.3)	7 (8.0)	3 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.3)	5 (5.7)	32 (36.8)
場所	入院中	13 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (7.7)
	入所中	46 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (4.3)	0 (0.0)	4 (8.7)

表 47-2 介護保険以外のサービスの利用と満足度

サービス内容	人数	%	満足度	
			満足	%
特定健康診査後期高齢者健康診査等	37	(25.3)	15	(40.5)
介護用品の支給	7	(4.8)	2	(28.6)
配食サービス	6	(4.1)	0	(0.0)
福祉用具・住宅改修支援事業	5	(3.4)	1	(20.0)
保健所や市町村の相談・家庭訪問	5	(3.4)	2	(40.0)
家族介護教室交流会	2	(1.4)	1	(50.0)
外出支援	1	(0.7)	0	(0.0)
軽度家事援助	1	(0.7)	0	(0.0)
寝具類乾燥消毒	1	(0.7)	0	(0.0)
徘徊高齢者探索・発見サービス	0	(0.0)		
緊急時通報システム	0	(0.0)		
その他	3	(2.1)	1	(33.3)
総数	146	(100.0)		

## 7 介護者の現状

### (1) 介護者の属性

在宅者 87 人のうち介護者のいる者は 75 名で、介護者の年齢は平均 67.7 歳（その年齢幅は 45～92 歳）で、平成 13 年度調査（60.8 歳）に比べ約 7 歳年齢が高くなった。

性別では「女性」77.3%、「男性」22.7%であり、平成 13 年度調査の男性の割合（11.5%）に比べ倍増していた（表 48-1）。

介護者の続柄は、「配偶者」が 44.0%と最も多く、「嫁」が 21.3%、「娘」16.0%であった（表 48-2）。平成 13 年度調査における続柄と比べると、配偶者（30.8%）、息子（5.1%）の割合が高かった。

表 48-1 介護者の性別・年代別（在宅者）

	総数	50 歳未満	50～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上	無回答	平均年齢
総数	75 (100.0)	2 (2.7)	28 (37.3)	16 (21.3)	7 (9.3)	6 (8.0)	11 (14.7)	4 (5.3)	1 (1.3)	67.7 歳
男	17 (100.0)	0 (0.0)	6 (35.3)	4 (23.5)	1 (5.9)	0 (0.0)	3 (17.6)	3 (17.6)	0 (0.0)	
女	58 (100.0)	2 (3.4)	22 (37.9)	12 (20.7)	6 (10.3)	6 (10.3)	8 (13.8)	1 (1.7)	1 (1.7)	

表 48-2 介護者の続柄（在宅者）

	総数	配偶者	息子	娘	息子の配偶者	孫	その他
総数	75 (100.0)	33 (44.0)	10 (13.3)	12 (16.0)	16 (21.3)	0 (0.0)	4 (5.3)
男	17 (100.0)	6 (35.3)	10 (58.8)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
女	58 (100.0)	27 (46.6)	0 (0.0)	12 (20.7)	15 (25.9)	0 (0.0)	4 (6.9)

### (2) 介護期間

平均介護期間は、49.8 か月（約 4 年 2 か月）で、平成 13 年度調査（49.7 か月）とほぼ同じであった。最短期間 2 か月～最長期間 12 年であった（表 49）。

表 49 介護期間

	総数	1 か月未満	12 か月未満	12～24 か月未満	24～36 か月未満	36～60 か月未満	60～120 か月未満	120 か月以上	無回答
総数	75 (100.0)	13 (17.3)	6 (8.0)	4 (5.3)	8 (10.7)	19 (25.3)	13 (17.3)	5 (6.7)	7 (9.3)

### (3) 介護者の職業（雇用形態）

介護者の職業は、無職 53.3%、常勤 10.7%であり（表 50）、平成 13 年度調査と比べ、無職の割合（59.0%）より低かった。

介護による仕事の変更は「勤務時間を減らした」、「辞めた」、「職場を変えた」を合わせると 20.0%であり（表 51）、平成 13 年度調査の同様の項目の割合（27.3%）に比べ低下した。

表 50 介護者の職業

	人数	%
無職	40	(53.3)
非常勤	14	(18.7)
自営業	13	(17.3)
常勤	8	(10.7)
総数	75	(100.0)

表 51 介護者の転職

	人数	%
変わらない	57	(76.0)
勤務時間を減らした	7	(9.3)
辞めた	6	(8.0)
職場を変えた	2	(2.7)
無回答	3	(4.0)
総数	75	(100.0)

### (4) 対象者と介護者の人間関係

人間関係が「良好」と回答している者 57.3%、「普通」 37.3%であった（表 52）。

表 52 介護関係

	人数	%
良好	43	(57.3)
普通	28	(37.3)
悪い	2	(2.7)
無回答	2	(2.7)
総数	75	(100.0)

### (5) 介護の代替者

同居家族内に介護の代替者が「いる」と回答した者は 54.7%で、その続柄は対象者にとって配偶者、娘、息子の配偶者であった。同居家族内に介護の代替者が「いない」者のうち、同居家族以外に代替者が「いる」者は 50.0%で、その内訳は親族が 100.0%であった（表 53）。

このことより、在宅の介護者の約 20%は、家族内にも家族外にも代替者がいないという結果であった。

表 53-1 同居家族内の介護の代替者

	人数	%
いる	41	(54.7)
配偶者	6	(14.6)
息子	12	(29.3)
娘	8	(19.5)
息子の配偶者	8	(19.5)
孫	5	(12.2)
その他	2	(4.9)
いない	32	(42.7)
無回答	2	(2.7)
総数	75	(100.0)

表 53-2 介護の代替者が同居家族にいない者の代替者

	人数	%
いる	16	(50.0)
親族	16	(100.0)
いない	16	(50.0)
総数	32	(100.0)



## (6) 介護の認識

介護者の介護の困難さに関する認識では、「非常に困難」8.0%、「やや困難」25.3%、「どちらともいえない」14.7%、「困難ではない」49.3%であった。

認知症の程度別では、「非常に困難」もしくは「やや困難」と答えている者の割合は、「軽度」24.3%、「中等度」25.1%、「高度以上」54.6%であった。軽度より程度が重いと困難に感じている者の割合が高かった（表 54-1）。

また、要介護度別では「非常に困難」もしくは「やや困難」と答えている者の割合は、「要介護1」50.0%「要介護2」66.7%「要介護3」100.0%「要介護4」66.7%「要介護5」100.0%であり、要介護度が高いほど介護の困難さが高い傾向にあった。また、「認定を受けていない者」の10.3%が「やや困難」と回答していた（表 54-2）。

表 54-1 介護の困難さ 認知症の種類別・程度別

	総数	非常に困難である	やや困難である	どちらとも言えない	困難ではない	無回答	
総数	75 (100.0)	6 (8.0)	19 (25.3)	11 (14.7)	37 (49.3)	2 (2.7)	
認知症の種類	アルツハイマー型認知症	47 (100.0)	2 (4.3)	11 (23.4)	11 (23.4)	22 (46.8)	1 (2.1)
	脳血管性認知症	9 (100.0)	0 (0.0)	3 (33.3)	0 (0.0)	6 (66.7)	0 (0.0)
	鑑別困難な認知症	5 (100.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (80.0)	0 (0.0)
	その他の認知症	14 (100.0)	3 (21.4)	5 (35.7)	0 (0.0)	5 (35.7)	1 (7.1)
認知症の程度	軽度	37 (100.0)	1 (2.7)	8 (21.6)	3 (8.1)	23 (62.2)	2 (5.4)
	中等度	16 (100.0)	1 (6.3)	3 (18.8)	3 (18.8)	9 (56.3)	0 (0.0)
	高度以上	22 (100.0)	4 (18.2)	8 (36.4)	5 (22.7)	5 (22.7)	0 (0.0)

表 54-2 介護度と介護の困難さ（在宅者）

	総数	非常に 困難	やや 困難	どちらとも 言えない	困難では ない	無回答	
総数	75 (100.0)	6 (8.0)	19 (25.3)	11 (14.7)	37 (49.3)	2 (2.7)	
要支援 1	12 (100.0)	1 (8.3)	4 (33.3)	0 (0.0)	7 (58.3)	0 (0.0)	
要支援 2	9 (100.0)	0 (0.0)	1 (11.1)	3 (33.3)	5 (55.6)	0 (0.0)	
要 介 護 認 定	要介護 1	12 (100.0)	2 (16.7)	4 (33.3)	3 (25.0)	3 (25.0)	0 (0.0)
	要介護 2	6 (100.0)	0 (0.0)	4 (66.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	0 (0.0)
	要介護 3	3 (100.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	要介護 4	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)
	要介護 5	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
認定を受けていない	29 (100.0)	0 (0.0)	3 (10.3)	4 (13.8)	20 (69.0)	2 (6.9)	

### (7) 介護者の身体的、精神的不調

身体的な不調が「あり」と回答している者は 40.0%、「なし」は 57.3%であった。「あり」の内訳は「腰背部痛」46.7%、「手足の関節痛」36.7%、「睡眠不足」「肩こり」26.7%であった(表 55-1)。

精神的な不調が「あり」と回答している者は 37.3%、「なし」は 60.0%であった。「あり」の者の内訳は「いらいら」64.3%、「眠れない」35.7%であった(表 55-2)。睡眠の中断は「あり」22.7%であった(表 55-3)。

表 55-1 身体的な不調

	人数	%
あり	30	(40.0)
腰背部痛	14	(46.7)
手足の関節痛	11	(36.7)
睡眠不足	8	(26.7)
肩こり	8	(26.7)
体がだるい	7	(23.3)
動悸	5	(16.7)
めまい	2	(6.7)
体重減少	2	(6.7)
頭痛	1	(3.3)
食欲がない	0	(0.0)
その他	8	(26.7)
なし	43	(57.3)
無回答	2	(2.7)
総数	75	(100.0)

表 55-2 精神的な不調

	人数	%
あり	28	(37.3)
いらいらする	18	(64.3)
眠れない	10	(35.7)
憂うつ、気分がふさぐ	6	(21.4)
その他	3	(10.7)
なし	45	(60.0)
無回答	2	(2.7)
総数	75	(100.0)

表 55-3 睡眠の中断

	人数	%
ある	17	(22.7)
ない	54	(72.0)
無回答	4	(5.3)
総数	75	(100.0)

### (8) 介護者自身の受診

介護者自身が何らかの疾患で「治療中」の者は57.3%であった。

年代別では、「50歳未満」0.0%、「50～64歳」38.5%、「65～69歳」50.0%、「70～74歳」71.4%、「75～79歳」83.3%、「80～84歳」100.0%、「85歳以上」100.0%で年代が高いほど治療中の者の割合が高い傾向にあった（表56）。

表56 介護者の受診

	総数	50歳未満	50～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
総数	75 (100.0)	2 (2.7)	26 (34.7)	16 (21.3)	7 (9.3)	6 (8.0)	11 (14.7)	4 (5.3)	3 (4.0)
治療中	43 (57.3)	0 (0.0)	10 (38.5)	8 (50.0)	5 (71.4)	5 (83.3)	11 (100.0)	4 (100.0)	-
通院を必要 としない	29 (38.7)	2 (100.0)	16 (61.5)	8 (50.0)	2 (28.6)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	-

### (9) 介護上の困りごと

介護上の困りごとが「あり」38.6%、「なし」58.7%であった。「あり」の内訳は「気が休まらない」48.3%、「(各種サービスを受けることに)本人が同意しない」34.5%、「留守中みてくれる人がいない」31.0%であった（表57）。

表57 介護上の困りごと

	人数	%
あり	29	(38.6)
気が休まらない	14	(48.3)
本人がサービス利用に同意しない	10	(34.5)
留守中みてくれる人がいない	9	(31.0)
他の介護者がいない	6	(20.7)
自分自身が病弱である	5	(17.2)
家族等が、認知症が発症していることを理解しない	1	(3.4)
近所の人に認知症のことを隠している	1	(3.4)
家族等がサービス利用に同意しない	0	(0.0)
近所の人、何かとうるさい	0	(0.0)
その他	4	(13.8)
なし	44	(58.7)
無回答	2	(2.7)
合計	75	(100.0)

#### (10) 生活上の影響

介護者の生活への影響が「あり」26.6%、「なし」70.7%であった。「あり」の内訳は、「自分の時間がない」50.0%、「仕事（家業を含む）ができない」「外出できない」30.0%であった（表58）。

表 58 生活への影響

	人数	%
あり	20	(26.6)
自分の時間がない	10	(50.0)
仕事（家業含む）ができない	6	(30.0)
外出できない	6	(30.0)
経済的負担が大きい	4	(20.0)
家事ができない	2	(10.0)
家庭内がうまくいかない	2	(10.0)
親族とうまくいかない	1	(5.0)
近隣とのトラブル	1	(5.0)
育児ができない	0	(0.0)
その他	3	(15.0)
なし	53	(70.7)
無回答	2	(2.7)
合計	75	(100.0)

### (10) ストレスの解消

ストレス解消方法が「あり」と回答した者の割合は 68.0%であった。認知症の程度が高度になるほどストレス解消法「あり」が多かった（表 59）。

表 59-1 ストレス解消 介護の困難別

	総数	ある	なし	無回答	
総数	75 (100.0)	51 (68.0)	19 (25.3)	5 (6.7)	
介護の困難さ	非常に困難である	6 (100.0)	4 (66.7)	1 (16.7)	1 (16.7)
	やや困難である	19 (100.0)	12 (63.2)	6 (31.6)	1 (5.3)
	どちらとも言えない	11 (100.0)	7 (63.6)	3 (27.3)	1 (9.1)
	困難ではない	37 (100.0)	28 (75.7)	9 (24.3)	0 (0.0)
	無回答	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)

表 59-2 ストレス解消 認知症の程度別

	総数	ある	なし	無回答	
総数	75 (100.0)	51 (68.0)	19 (25.3)	5 (6.7)	
認知症の程度	軽度	37 (100.0)	23 (62.2)	10 (27.0)	4 (10.8)
	中等度	16 (100.0)	11 (68.8)	4 (25.0)	1 (6.3)
	高度以上	22 (100.0)	17 (77.3)	5 (22.7)	0 (0.0)

## 9 相談に関すること

### (1) 相談相手

認知症に気づいてから相談相手「あり」と回答した者の割合は63.7%、「なし」22.6%であった。「あり」とした者の相談相手（介護者を中心とした続柄）は、子ども32.3%、配偶者26.9%、兄弟姉妹24.7%であった。「なし」の内訳は、相談したかったが相談できる人がいなかった者が18.2%、相談する必要がなかった者が81.8%であった（表60）。

表60 相談相手の有無

	人数	%
あり	93	(63.7)
子ども	30	(32.3)
配偶者	25	(26.9)
兄弟姉妹	23	(24.7)
友人・知人	12	(12.9)
父母	0	(0.0)
その他	34	(36.6)
なし	33	(22.6)
相談できる人がいない	6	(18.2)
相談の必要なし	27	(81.8)
無回答	20	(13.7)
総数	146	(100.0)

### (2) 相談機関

認知症に気づいてからの相談機関利用状況は「あり」54.1%、「なし」32.2%であった。初回に利用した相談機関は、「地域包括・在宅支援センター」59.5%、「病院・診療所」45.6%、「居宅介護支援事業所」21.5%であった。利用者が10人以上いた相談機関の満足度は、「満足」が60%前後であった（表61-1）。

相談機関を利用しなかった者の理由は、「相談の必要を感じなかった」85.1%が最も多かった（表61-1）。

相談機関への具体的な相談内容は、「介護保険に関する手続き・サービス」38.4%、「認知症に関する知識」21.2%、「具体的な対応・介護方法」20.5%であった（表61-2）。

表 61-1 相談機関の有無と満足度

	人数	%	満足度	
			満足	%
あり	79	(54.1)		
地域包括・在宅介護支援センター	47	(59.5)	28	(59.6)
病院・診療所	36	(45.6)	21	(58.3)
居宅介護支援事業所（在介外）	17	(21.5)	11	(64.7)
市町村・保健センター	7	(8.9)	5	(71.4)
特別養護老人ホーム	5	(6.3)	1	(20.0)
介護老人保健施設	4	(5.1)	2	(50.0)
厚生センター・保健所	1	(1.3)	0	(0.0)
心の健康センター	0	(0.0)		
認知症疾患医療センター	0	(0.0)		
シルバー110 番の相談	0	(0.0)		
認知症の人と家族の会	0	(0.0)		
その他	5	(6.3)		
なし	47	(32.2)		
相談の必要を感じていなかった	40	(85.1)		
必要を感じたが、相談はしなかった	1	(2.1)		
必要を感じたが、相談機関を知らなかった	1	(2.1)		
その他	4	(8.5)		
無回答	1	(2.1)		
無回答	20	(13.7)		
合計	146	(100.0)		

表 61-2 相談機関への相談内容

	人数	%
介護保険に関する手続き・サービス	56	(38.4)
認知症に関する知識（症状・治療方法など）	31	(21.2)
具体的な対応・介護方法について	30	(20.5)
医療機関・専門機関の紹介	17	(11.6)
介護保険以外の利用可能な福祉サービス	7	(4.8)
その他	7	(4.8)
総数	146	(100.0)

## 10 施設介護サービス利用の希望（在宅者のみ）

### （1）本人の意向

「利用したくない」が41.3%、「わからない」28.0%、「将来利用したい」9.3%であった（表62）。

### （2）家族の意向

「利用したくない」34.7%、「将来利用したい」29.3%であった。「今すぐ利用したい」「将来利用したい」と回答した者の希望先は、特別養護老人ホームが多かった（表62）。



表 62 入所希望

入所希望		人数	%	希望施設	人数
本人	今すぐ利用したい	1	(1.3)	⇒ 特別養護老人ホーム	5
	将来利用したい	7	(9.3)		
	利用したくない	31	(41.3)	⇒ 介護老人保健施設	1
	わからない	21	(28.0)	グループホーム	1
	無回答	15	(20.0)	無回答	1
総数		75	(100.0)		
家族	今すぐ利用したい	5	(6.7)	⇒ 特別養護老人ホーム	15
	将来利用したい	22	(29.3)		
	利用したくない	26	(34.7)	⇒ 介護老人保健施設	3
	わからない	18	(24.0)	グループホーム	3
	無回答	4	(5.3)	認知症疾患治療病棟、介護療養型医療施設	1
	総数	75	(100.0)	一般病院	1
			無回答	4	

## 11 行政に望むこと

認知症ありの者総数では、家族の行政への要望は、「あり」が 66.5%であった。その内訳としては、「介護が受けられる入居施設の充実」32.9%、「見守りや安否確認ができる体制の充実」21.2%、「居宅介護サービスの充実」20.5%であった。

在宅者では、「介護が受けられる入居施設の充実」29.9%、「居宅介護サービスの充実」23.0%、見守りや安否確認ができる体制の充実」19.5%、「介護保険対象外の日常生活支援サービスの充実」19.5%であった（表 63）。

表 63 今後の高齢者保健・福祉に関する施策の希望

	認知症あり		在宅者		入院入所者	
	人数	%	人数	%	人数	%
あり	97	(66.5)	58	(66.7)	39	(66.1)
介護を受けられる入居施設の充実	48	(32.9)	26	(29.9)	22	(37.3)
見守りや安否確認ができる体制の充実	31	(21.2)	17	(19.5)	14	(23.7)
居宅介護サービスの充実	30	(20.5)	20	(23.0)	10	(16.9)
在宅療養に必要なサービスの充実	23	(15.8)	16	(18.4)	7	(11.9)
介護保険対象外の日常生活支援サービスの充実	23	(15.8)	17	(19.5)	6	(10.2)
通所サービスの充実	18	(12.3)	13	(14.9)	5	(8.5)
介護している家族の教室や相談体制の充実	18	(12.3)	11	(12.6)	7	(11.9)
訪問介護などの充実	15	(10.3)	7	(8.0)	8	(13.6)
介護予防や健康づくり施策の充実	10	(6.8)	7	(8.0)	3	(5.1)
高齢者に配慮した住環境づくり	8	(5.5)	4	(4.6)	4	(6.8)
社会参加や余暇活動に対する施策の充実	5	(3.4)	2	(2.3)	3	(5.1)
その他	18	(12.3)	8	(9.2)	10	(16.9)
特になし	44	(30.1)	28	(32.2)	16	(27.1)
無回答	5	(3.4)	1	(1.1)	4	(6.8)
総数	146	(100.0)	87	(100.0)	59	(100.0)